

第29回関東ミニバスケットボール大会  
茨城県大会結果  
女子WYブロック

青葉小	35	12	VS	12	37	習台二
東京		4		4		千葉
		7		13		
		12		8		

1Q: 習台二⑥のゴール下シュートからスタート。お互ゴール下を中心にゲームを展開。同時に外角のシュートも決り出し12-12で1Qを終了。  
2Q: 両チーム共、ディフェンスをオールコートへ切替え、厳しいディフェンスを展開。シュートが決らず16-16の同点でハーフタイム。  
3Q: 2Q同様厳しいディフェンスの応酬。青葉小は⑦、習台二は⑥を中心にゲームを展開。青葉小⑨が痛恨のファール退場。  
4Q: 青葉小は⑥・⑦を中心に追上げ1分を切り同点となる。双方得点できない緊迫した攻防の中、残り1秒習台二⑥のゴール下シュートでゲーム終了。  
総評: お互い最後まで手を抜かない、オフェンス・ディフェンスは素晴らしい関東大会らしいハイレベルなゲーム。両チームに拍手を送る。

(戦評) 鈴木 大輔

チーム名	41	13	VS	11	45	チーム名
習台二		7		13		緑岡
		12		9		
		9		12		

1Q: 緑岡プレスで激しくボールをねらう。習台二は⑥の高さを生かし攻める。残り15秒パスカットからシュートを決め13-11逆転で終了。  
2Q: 習台二は緑岡のドライブインに対しファールがかさみ苦戦。緑岡はフリースローで加点。20-24緑岡の流れで前半終了。  
3Q: 習台二はアウトサイド、緑岡インサイドの攻防となる。習台二が点差を詰め33-32で終了。  
4Q: 緑岡⑤⑦の積極的なドライブインで攻撃。習台二も高さを生かし攻めるも緑岡の厳しいディフェンスを崩せず41-45で試合終了。  
総評: 習台二の高さに対し緑岡の激しいディフェンスの戦いで、一進一退のシーソーゲーム。最後まで目の離せない好ゲームであった。

(戦評) 小林宜弘

チーム名	31	15	VS	15	39	チーム名
緑岡		4		9		青葉小
		8		6		
		4		9		

1Q: 緑岡は立ち上がり⑥を中心にリバウンドからの速い攻めを展開。青葉小相手のミスを見逃さず得点につなげる。15対15互いに譲らず終了。  
2Q: 緑岡リバウンドから速攻を試みるが得点にならない。青葉は⑨を中心に確実に点を伸ばし、19対24で前半終了  
3Q: 緑岡は⑨⑥④の連続シュートで追い上げる。青葉は前半のようにシュートが決まらず苦戦するも何とかリードを守る。  
4Q: 緑岡1点差まで詰めるが青葉も⑤、⑨のシュートで逆に7点差に広げる。青葉残り2分厳しいディフェンを展開するも間に合わず試合終了。  
総評: 両チームとも似たタイプのチームであった。勝敗を決めたのはシュート決定率の差といえる。シュート1本の大切さを感じさせるゲームであった。

(戦評) 小林宜弘